

# ふれあいかんだより

7

かわさきし

川崎市ふれあい館

くじょうかいけつせきにんしゃ  
苦情解決責任者

ちえ かんいちや  
すずき 江以子  
鈴木 健

かわさきしかわさきさくらもと

〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800

http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2026.7.1

No.447

かわさきしよかん  
川崎市所管

みらいきょくせいしやうねんしえんしつ  
こども未来局青少年支援室 (TEL044-200-3083)

## こどもプログラムで「かたぬき」を行いました。



6月9日(火)に「かたぬきチャレンジ」を行いました。こどもたちは、簡単な形から難しい形まで、それぞれ好きなものを選び、真剣な表情で取り組んでいました。途中で割れてしまい悔しそうな様子も見られましたが、あきらめずに何度も挑戦する姿が印象的でした。難しいかたぬきがきれいにできたときには、「できた!」と大喜び。友だち同士で見せ合ったり、成功を喜び合ったりしながら、楽しい時間を過ごしました。

## ボランティア養成講座を実施しています。



ふれあい館では外国につながる方が地域で日本語を学べる場として「識字学級」を運営しており、会話をしながらことばやお互いの文化をともに学びあっています。5月22日(金)からは教育文化会館と合同で日本語ボランティア入門研修を開催。新たに活動を希望する17名が参加しています。川崎市の歴史や「識字学級」が始まった経緯、ボランティアに求められる姿勢や実践を見据えた活動方法など、様々なテーマで学んでいます。毎回のグループワークでは積極的に意見交換をしたり質問したりと、和気あいあいとした雰囲気です。研修が進んでいます。識字学級の取り組みに賛同し、1人でも多くの方と一緒に活動できるようになれば嬉しいです。

## 難民・移民フェスに出演しました。



6月6日(土)に「トラジの会」で難民・移民フェスのステージに出演しました。難民や移民として日本で暮らす人々が置かれている厳しい状況と、多様な背景を持つ人々がともに暮らす地域社会について考え、ハルモニたちは「移民の先輩」としての思いを胸に、共感と応援の気持ちを持って参加しました。チマチョゴリを纏い、民族民謡や扇の舞やスピーチを披露し最後のトラジ音頭では500人もの人と一緒に踊ることができました。ひとときの楽しい時間だったかもしれませんがハルモニのスピーチが多くの人に響いた一日となりました。

# ふれあい館 7月の予定

**こども部門** 子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

木のおもちゃ	2日(木) 16日(木)	10:00~11:00	木のおもちゃで素朴でぬくもりを感じる時間が過ごせます。
小麦粉ねんど	6日(月)	10:00~11:30	色付きの小麦粉ねんどで遊べます。 ※アレルギーの方はご注意ください。
ぴよぴよタイム Café ろば	13日(月)	10:30~11:30	お子さんの身体測定と保護者のおしゃべり会です。

## 七夕撮影会

日時 7月1日(水)10:30~11:30

七夕にちなんだ飾りつけのフレームで記念撮影ができます。



## 水遊びがはじまります。

7月22日から水遊びができます。10:30~11:30 1回4組程度。持ち物 水着 着替え タオル 水分を用意してください。おむつが取れていない子は水遊びようのおむつをお願いします。詳しい日程は「ろばだより」をご覧ください。

利用者からご要望いただいていた館内の授乳スペースがキッズスペースろばにできました。いつでもお気軽にご利用ください。



●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより(あそぼ)をみてね

七夕	7日 火曜日	4時~	たなばたのイベントをします。6日は七夕飾りを作ります。
----	--------	-----	-----------------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月(tsu)のたより(あそぼ)があります。

●民族文化サークル

舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時~5時	毎週火曜日の放課後に活動しています。
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時~6時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
子どもチャンゴ	毎週 金曜日	4時~5時30分	毎週金曜日の放課後に活動しています。

●中高生の活動

小・中学生学習	毎週 火・水・木曜	7時~9時	主に新渡日外国人の小・中学生(水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生(火曜日・木曜日)の基礎学力保障のための学習会
サポート	毎週土曜	1時~3時	

● **成人部門**

多文化交流学級

**みんなで楽しむ夏の交流会～ハルモニとトラヂ音頭を踊ろう～**

識字学級に参加している学習者 & 共同学習者の皆さんとともに、夏の交流会を行います！トラヂの会のハルモニたちからトラヂ音頭を教わり、一緒に踊って夏の暑さを吹き飛ばしましょう！

● **日時** 7月17日(金)10:00～11:30 ● **場所** 川崎市ふれあい館2階ホール(川崎区桜本1-5-6)

● **参加費** 無料 ● **申し込み** 電話か来館で受け付けます。 044-276-4800

主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

人権尊重学級part1

「人権から拓く、ともに生きる社会—出会い、記憶、平和を巡って—」

①7月18日(土) 「世界で暮らすクルドの人々～移民・難民と私たち～」

16:00～18:00 金井真紀さん(文筆家・イラストレーター)

国を持たずに生きる人びとは、どのような暮らしを営んでいるのでしょうか。文筆家・イラストレーターの金井真紀さんは、世界各地を訪ね、移民・難民として生きる人びとと声に耳を傾けてきました。本講座では、日本で暮らすクルドの人々との出会いを通して、多様な人々とともに生きる社会について考えます。

②7月28日(火) 「置き去りにされた歴史と向き合う—長生炭鉱遺骨収容からの願い—」

18:30～20:00 講師 井上洋子さん(一般社団法人長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会代表理事)

1942年、山口県宇部市の長生炭鉱で発生した水没事故では183人が亡くなり、その多くが朝鮮半島にルーツを持つ人びとでした。しかし、今なお多くの遺骨が海底に残されています。長年にわたり遺骨収容活動に取り組んできた井上洋子さんを講師に迎え、歴史の記憶を受け継ぐことの意味と、いのちの尊厳についてともに考えます。

● **会場** 川崎市ふれあい館 (川崎区桜本1-5-6) ● **参加費** 無料

● **申し込み** 044-276-4800 fureaikan@seikyu-sha.com

※人権尊重の啓発、民族差別の克服、共に生きる地域社会の創造を目的とした講座です。趣旨をご理解のうえ、ご参加ください。

主催 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

● **識字学級**

曜日	まいしゅう かようび きんようび 毎週 火曜日・金曜日	参加費	無料 (教材費は実費)
時間	10:00～11:30		

● **高齢者** 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにく  
なっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

## ●色々な書類の申請のお手伝いをします！

就学援助など書いて学校に提出しないといけないものや、役所から送られてきた書類で言葉が  
わからなくて知らなかった人、申請のしかたがわからない人のお手伝いをします。  
連絡先：ふれあい館 電話044-276-4800



### ▲知っていますか？

いま、日本にあるエスニックレストランが危機にあることを。多くの外国人経営者は「経営・管理」というビザ、そして、配偶者と子どもは「家族滞在」というビザをもって日本で生活しています。外国人施策が厳しくなるなか 2025年10月から「経営・管理」ビザの条件が突如、驚くほど厳しくなっていました。これまでに500万円の資本金でよかったのが、3000万円以上の資本金、日本人や永住などのビザを持っている外国人の雇用などが新しい条件となりました。新基準への移行の猶予は3年もうけられましたが、それも2028年10月までです。▲多くの外国人経営者は、この基準をクリアすることが難しく、お店の経営を続けることができなくなってしまいます。その一番の影響をうけるのが、インド・ネパールカレー屋さんといわれています。川崎区内だけでも20店舗以上と川崎にもたくさんのお店があります。インド・ネパールカレー屋さんだけでなく、ベトナム

料理屋さん、様々なエスニック食材店なども同様です（中には、経営者が日本人であったり外国人経営者が永住者や定住者などのビザを持っていて今回の厳格化の影響を受けないお店もありますが）。▲エスニックレストランがなくなってしまっただけではありません。経営者の家族も日本にいられなくなってしまいます。このままでは日本の学校に通えなくなってしまう、昨日まで一緒にいた友だちと明日から、一緒にいれなくなってしまうと、日本で小学校、中学校、高校に通う子どもたちはいま、たくさんの不安を感じています。この厳格化はいわゆるペーパーカンパニー問題への対応と言われていますが、それといっしょくたにして、これまで10年、15年がんばってレストランをやっていた人、その家族の生活を奪っていいもののでしょうか？そもそも500万円の資本金で外国人が起業できると規制緩和をしたのは国です。▲エスニックレストランはわたしたちの街を、わたしたちの生活を豊かにしてくれています。この厳格化の再考が求められます。(け)